

当社グループ運営ホテルの 新型コロナウイルス感染拡大防止の取り組みについて

平素は格別のご愛顧を賜り、誠にありがとうございます。

今年に入り世界的に拡大した新型コロナウイルス感染症により亡くなられた方々に謹んでお悔み申し上げますとともに、感染された方々には心よりお見舞い申し上げます。

緊急事態宣言が解除され、今後、国内の観光需要から少しずつ回復していくと見込んでおりますが、皆様に安心してご利用いただくため、当社グループ運営ホテルで取り組んでいる新型コロナウイルス感染拡大防止策についてご紹介いたします。

1、当社グループ運営ホテルでの取り組み

当社グループが運営する「京都悠洛ホテルMギャラリー」「イビスタイルズ大阪難波」「イビス大阪梅田」では、お客さまの安全と健康を最優先に考え、安心してご利用いただけるよう、アコーホテルズの衛生基準「ALLSAFE」に沿って、以下の取り組みを行っております。

【アコーホテルズ ALLSAFE】

<https://all.accor.com/event/allsafe-asia-pacific.ja.shtml>

【主な取り組み】

- ・チェックインの際は対面を避けて行い、検温とアルコール消毒のご協力をいただいております。
- ・レストランにおいても、検温・アルコール消毒を実施し、テーブル席の間引きを行うなど三密対策を徹底しております。
- ・従業員は全員マスク着用を義務付けて対応しております。
- ・施設内各所に消毒液を設置しております。
- ・不特定多数の方が接触される箇所を中心に、消毒液による清掃を定期的に行っております。
- ・お客様に発熱・風邪症状がある場合、週末を含め保健所に連絡し指導を仰ぐ体制を確立しております。

2、当社グループ業務提携先での取り組み

なお、当社グループは、京都市東山区にて、日本初のバンヤンツリー・ホテルのオープンに向けて、現在ホテル開発を進めておりますが、バンヤンツリー ホテルズ&リゾーツでは、2020年6月から、お客様の健康と安全の確保の為「Safe Sanctuary Programme（セーフサンクチュアリ・プログラム）」を開始しておりますので、ご参考までに、その取り組みについて紹介いたします。

【Safe Sanctuary Programme（セーフサンクチュアリ・プログラム）概要】

バンヤンツリー グループは、自由な往来が再開されるときに備え、お客様とアソシエイトの双方にとって「SafetySanctuary（安全の聖域）」であるための取り組みをさらに強化していきます。ビューローベリタスとの提携の下、当グループホテル専用ラベルとプロトコルを共同開発し、

「SafeSanctuary Programme (安全の聖域プログラム)」を開始いたします。これは、心身ともに健康に過ごすための総合的なプログラムで、安全とウェルビーイングの基準となるプロトコルを組み入れています。2020年6月より順次すべてのホテルで展開いたします。

SafeSanctuary Seal (安全の聖域シール) は、Protect (保護)、Provide (提供)、Prevent (予防) の厳格な適用を示すものであり、すべてのお客様とアソシエイトに対して、当グループが推し進める健康と安全の対策を徹底いたします。お客様の旅の計画、予約、滞在といったバンヤンツリーとのタッチポイントすべてが対策の対象となります。

このプログラムには、スクリーニング検査手順や衛生ステーション、お客様とアソシエイトの行動パターンの再構築をはじめ、40以上の分野における強化プロトコルが用意されています。

【バンヤンツリー ホテルズ&リゾーツ Safe Sanctuary Programme (英語サイト)】

https://www.banyantree.com/en?pl=45e75ck6215f65bp5f15bz5bm5d15ed63e5a300&utm_source=corp&utm_medium=email&utm_content=hero_image&utm_campaign=corp_enews_jul2020

今後も、当社グループは、業務提携先のホテルブランドと協力し、お客さまの安全と健康を最優先に考え、安心してご利用いただけるよう、取り組みを行って参りますので、どうぞご安心してご利用ください。

皆様のご利用を心よりお待ちしております。

<本件ニュースリリースのお問合せ先>

ウェルス・マネジメント株式会社 総務部 03-6229-2129

免責事項

・本件ニュースリリースは、本書開示日における情報の提供を目的としたものであり、投資の勧誘を目的としたものではありません。実際の投資に際しては、ご自身の判断と責任において投資判断を行っていただきますようお願いいたします。

・本件ニュースリリースは、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においてもご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。

・本件ニュースリリースには、当社及び連結子会社の計画等将来に関する記述が含まれております。これらの将来に関する記述は、作成時点において入手可能な情報に基づいており、様々なリスクや不確実性が内在しています。したがって、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性がありますことをご承知おきください。